



3月は旧暦で「弥生（やよい）」とも言います。「弥（いや）」は「いよいよ、ますます」、  
「生（おい）」は「生い茂る」を意味し、寒い冬が終わり、次第に草木が芽吹いて生い茂って  
いく月ということから「弥生」と言われるようになったとされています。草木の力強さ、春  
の訪れを感じさせてくれますね。きっずるーむでも暖かくなってきた日差しをたっぷり感じ  
ながら、ますます元気いっぱい子どもたちと過ごしていきたいと思えます！！

## おおきな根

草の根を抜こうと必死のAちゃん。それでもなかなか抜けません。

おや？これは絵本が大好きなAちゃんと室内で繰り返し読んだ”おおきなかぶ”の絵本の一ページではありませんか！！

保育者がそっとAちゃんに「先生がAちゃんを引っ張ってみようか」と声をかけるとAちゃんもハッと何かを思い出したようにニコッと微笑み

\\ ようやくこぼれ \\



\\ こぼれこぼれ \\

それでもなかなか抜けません。

悔しそうなAちゃん。

何度も繰り返すうちにようやく根は抜けました！

「やったー！やったー！」と大喜びのAちゃん。

今日は2人でのうんとこしょ！どっこいしょ！でしたが、“おおきなかぶ”の世界観を楽しんだひとときでした。

## 絵本を通して…

子どもたちは絵本を読んでもらうことで、耳から聞こえてくる言葉と目で見える絵から物語の世界をイメージし、その世界に入っていきます。その世界を疑似体験しながら、登場人物になりきり、ワクワク、ドキドキしたり、感動したり、時には、悲しみや悔しさなど様々な気持ちを体感していきます。

そして、子どもたちは、現実の世界でもその続きを楽しみます。絵本の世界での体験や記憶が、Aちゃんのように遊びや日常の会話の中に溢れ出てきます。時には遊びの中でオリジナルの物語へと展開されていくこともあります。また、誰かとその世界観を共有することが出来た時、遊びがさらに広がったり、他者とわかり合えたという心地よさを経験することにも繋がります。

今後もきっずるーむでは、子どもたちが日常的に絵本と出会うことのできる環境を整え、保育者が子どもに絵本を読む時間を大切にしていきたいと思えます。そして、その後に展開される遊びや言葉も一緒に楽しんでいきたいと思えます。

## 今年度もありがとうございました



今年度もたくさんのご理解とご協力を頂きありがとうございました。この一年を振り返ると、子ども達との様々な思い出が昨日のここのように思い出されます。子ども達の成長を間近で見ることができ、保護者の皆様と共有することができ嬉しく思います。来月から新生活がスタートするご家庭もあるかと思えます。新しい素敵な出会いを願うと共に応援しています。来年度もどうぞよろしくお願い致します。

